

地域生活支援センター柿の木苑
令和7年度第1回 地域連携会議 議事録

1. 日 時 令和7年11月22日（土曜日） 10時30分～12時30分
2. 開催場所 社会福祉法人ぶさん会 地域生活支援センター柿の木苑
ほぞの2号館 リビング
3. 出席者 構成員
市町村担当者 八戸市障がい福祉課職員 1名
地域の関係者 町内会長 1名（都合で欠席1名）
利用者家族 2名
利用者 2名
職 員
管理者、サービス管理責任者（司会進行）、主任生活支援員

4. 議事

《 1. 管理者あいさつ 》

《 2. 職員紹介 》

《 3. 1日の流れの説明 》

1日の生活の流れを構成員に説明した。それぞれの利用者様に役割分担があり、掃除、朝食準備、下膳、夕食準備、下膳を手伝っていることを説明した。利用者様よりそれぞれの担当を発表。

→ 構成員より「子供より、いつも掃除をしていると聞いているが、皆で出来ることを分担しているのを知れてよかった。」と理解いただく。

《 4. 防災訓練の実施状況 》

司会者より配布資料をもとに令和6年度の避難訓練の実施状況を説明する。火災想定避難訓練2回、地震想定避難訓練1回、洪水対策避難訓練1回、消防設備業者による消防設備点検2回、職員による消防設備自主点検4回行っていることを説明する。

→ 構成員より、「きちんと避難訓練しているようで安心しました。」と理解いただく。

司会者がBCP自然災害発生時における事業継続計画について、配布資料をもとに、基本方針、推進体制、リスクの把握、優先する業務、研修・訓練の実施、

BCP の検証・見直し、水害対策、必要品の備蓄について説明する。

一次避難は近隣小学校、二次避難は当法人の設置する通所事業所であることを伝える。

→ 構成員より、近隣小学校への避難経路についてアドバイスがある。また、ポンプ場建設後は水害被害がないこと、ポンプ場は内水を馬淵川へ放水するための施設であることの説明をいただく。グループホーム建設前の町内の状況を聞くことができた。

《 5. 事業所見学 》

司会者が建物の案内を行う。スプリンクラーや防災備品も見えていただく。質問を受け付けた。

→ 構成員より、カセットコンロを増やしたほうが良いこと、ポータブルトイレの準備、トイレの排水のために湯舟に水を貯めること、100均の固形燃料でご飯が炊けることなど、アドバイスをいただく。

《 6. 昼食試食 》

構成員に利用者様に提供しているものと同じ昼食を試食いただく。

当日のメニューはタンメン、餃子、フルーツである。

今回は主任生活支援員が調理した昼食を提供した。「平日は調理専任の世話人が在籍している。朝食は250円、昼食、夕食は400円を目安に材料費で作っている。利用者様からは材料費を徴している。」ことを管理者が説明した。

→ 構成員より「美味しい。」と感想をいただく。構成員より「好きなメニュー」の質問があり、利用者様が「ラーメン」と回答される。

以上.